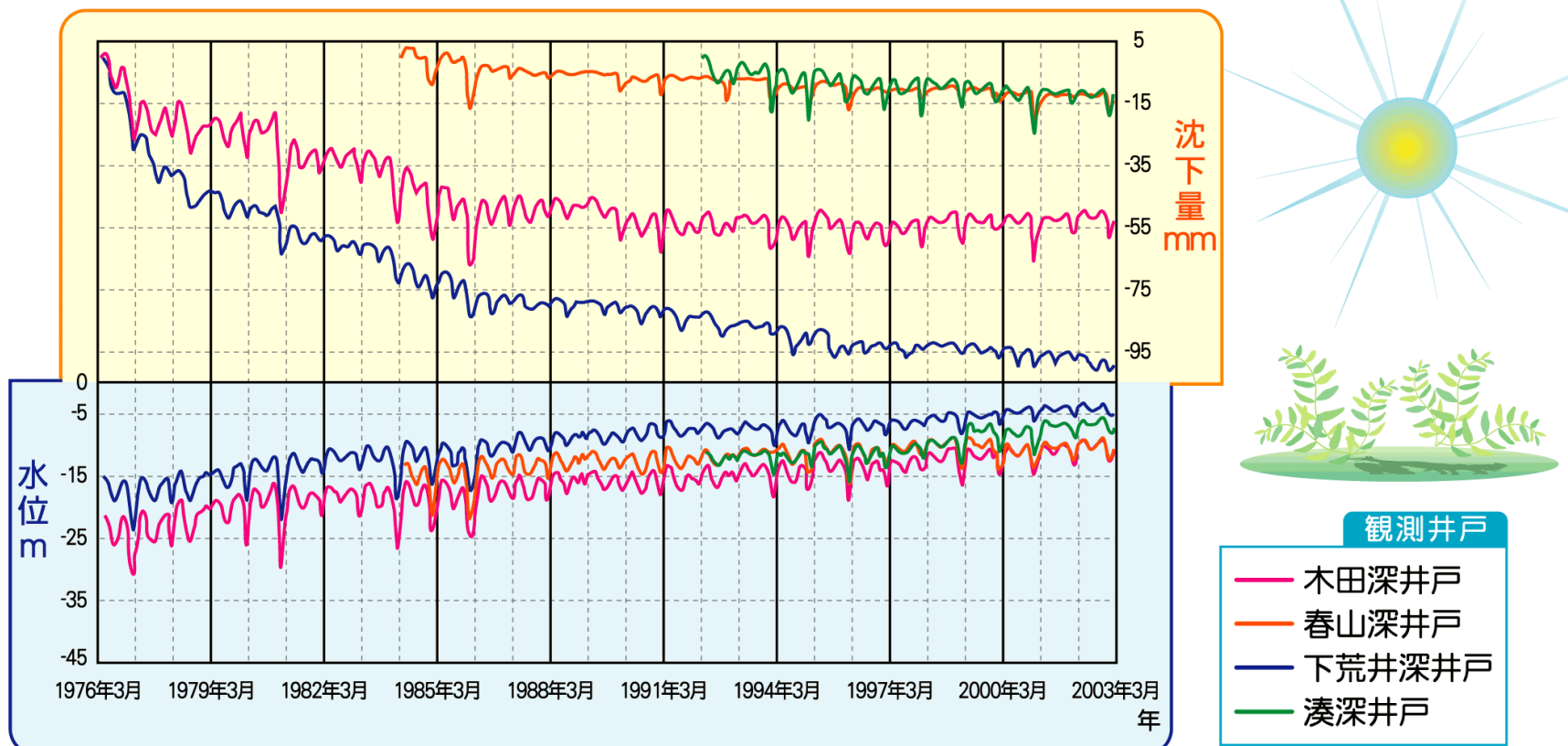


地下水の変動と地盤沈下の現状をみてみましょう

福井市内で観測している地盤沈下と地下水位のデータをグラフにしました

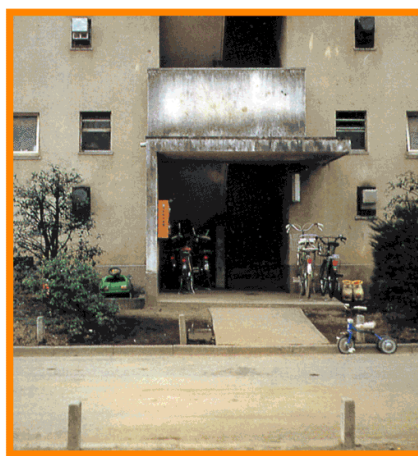


下荒井では、1971年から1974年までの3年間に25.4cm(年平均8.5cm)の沈下量が計測されました。これを受けて、市内に観測所を設け、常時監視するとともに、一部地域においては、地下水の揚水に係る抑制対策を始めました。上のグラフからも分かるように、現在では地盤沈下は治まっています。また、地下水位に関しても回復傾向にあります。

地盤沈下がおきるとこうなります



地盤沈下前



地盤沈下により建物が抜け上がってしまった後の建物



写真:国土地理院

地盤沈下は、広範囲でゆっくりと進行するため、私達の体にはまったく感じられません。それだけに、気がついたころには、数mも沈下している場合があります。